



大阪府立大学混声合唱団 EWA CHOR 第63回定期演奏会

1月15日(土)

たかいし市民文化会館アプラホール大ホール
南海本線「高石駅」よりすぐ

開場 15:00 開演 15:45 入場料無料

連絡先 宇山千晴 ewa2021steering@gmail.com

Twitter @EWACHOR

本演奏会は事前予約制ではございません。
ご来場の際に、大阪コロナ追跡システムへの登録にご協力いただきます。

1st stage

混声合唱とピアノのための

「いのちの木を植える」

詩：谷川俊太郎

指揮：前田悠貴

作曲：木下牧子

客演伴奏：木下亜子

2nd stage

混声合唱組曲

「月天子」

詩：宮沢賢治

客演指揮：当間修一

作曲：千原英喜

客演伴奏：木下亜子



客演伴奏 木下亜子

京都市立芸術大学音楽学部卒業、同大学大学院修了。ピアノを中谷弘、宮澤功行、神西敦子の各氏に、チェンバロを春山操氏に師事。

学部在学中、第4回ピアノフェスティバル(学外コンサート)等に出演。京都芸術祭デビューコンサート出演。'95年独・マタイザー夏期講習において声楽マスタークラスの伴奏ピアニストをつとめる。'97年釧路音楽協会高後賞受賞。'98年青山財団よりパロックザール賞を受賞。'99年イーストマン音楽学校夏期セミナー'99 in 浜松において伴奏ピアノクラスを受講。Jean Barr 教授に師事。'04年ジョイント・リサイタル開催。現在合唱伴奏・歌曲伴奏・室内楽などにおいて活動を行っている。
大阪コレギウム・ムジクムピアニスト。



客演指揮 当間修一

「大阪コレギウム・ムジクム」主宰。

大阪音楽大学卒業。在学中よりバッハの音楽に傾倒、オルガニスト及び通奏低音奏者として研鑽を積む。

「ハインリッヒ・シュッツの作品の演奏」を活動の1つの柱にし、その作品を日本に紹介し続ける功績は大であると共に、合唱団・オーケストラにおける現代に生きる表出力は国内外より高い評価を得ている。

これまで36タイトルのCDをリリース。2008年には「OCM歌唱発声法改訂版」テキスト、「OCM歌唱発声体操」DVDを発表。

2009年カワイ出版より混声合唱曲集「日本・こころのうた(春夏編、秋冬編)」(鈴木憲夫／当間修一・共編)を刊行。

2012年1月全音楽譜出版社より無伴奏混声合唱曲集「この愛しきものに」(当間修一作品集)を刊行。2013年、テキスト

「ヴォーチェ・ディ・フィンテとその実践」(全音楽譜出版社)およびDVD「ヴォーチェ・ディ・フィンテによる合唱のための声づくり」(ブレイン株式会社)を刊行。2015年、I.シュタイン原著「ハインリッヒ・シュッツーその生家500年の歴史」邦訳版(東京図書出版)を監修・刊行。

「東京コレギウム・ムジクム」主宰。「京都C.モンテヴェルディ合唱団」、「名古屋ビクトリア合唱団」、女声合唱団「りんどう」、女声合唱団「コーロ羽衣」の音楽監督。大阪府立大学混声合唱団「EWACHOR(エヴァ・コール)」の技術顧問。大阪薬科大学混声合唱団の音楽アドバイザー。NHK全国学校音楽コンクール、全日本合唱連盟合唱コンクール、宝塚国際室内合唱コンクールなどの審査員を務めた。

1996年大阪文化祭奨励賞、1998年文化庁芸術祭音楽部門優秀賞、2001年ABC音楽賞「クリスタル賞」受賞。2003年関西合唱連盟より「長井賞」を受賞。2011年大阪文化祭賞グランプリを受賞。2014年「第49回大阪市市民表彰」文化功労部門において表彰される。また2010年・2017年にイタリア、2013年にはスペインにて主宰・音楽監督を務める合唱団による公演を行い(2017年はマントヴァ室内音楽フェスティバルに招聘される)、現地の熱烈な絶賛を博す。